



ほっかいどう
生涯学習
Lifelong Learning

新しい自分との

出会いや発見がきっとある



ミラノ ドゥオモ



スイス クライネ・シャイデック



パリ ルーブル美術館

平成12年度生涯学習海外研修旅行

生涯学習のヨーロッパ研修

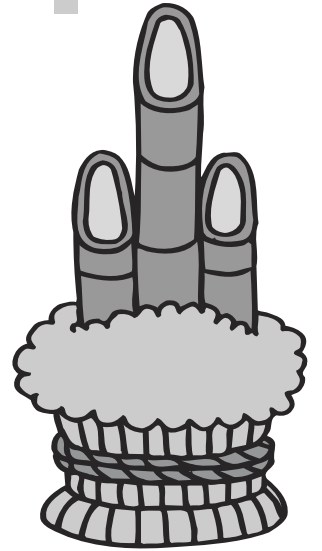
平成12年10月4日(水)から10月15日(日)までの12日間、第25回生涯学習のヨーロッパ研修が、道内各地から18名が参加して実施されました。研修日程にしたがいスウェーデン、スイス、イタリア、フランスと研修視察が行われました。帰国の途中、アムステルダム空港で搭乗航空機に予約過剰が起きるなどのハプニングがありました。社会福祉先進国のストックホルム高齢者社会福祉施設やボランティア志向の高いパリのボランティア団体の訪問、欧州一高い鉄道駅ユングフラウヨッホ駅やアイガー北壁の眺望、ドゥオモやミラノ座、ルーブル美術館・凱旋門やノートルダム寺院等芸術・文化に触れた感動のヨーロッパ研修でした。10月16日(月)正午、全員無事に帰国いたしました。

目次

平成12年度生涯学習海外研修旅行.....	1	会員の声.....	5
年頭ご挨拶.....	2	情報の広場	
生涯学習振興策に新企画		文化交流室事業のご案内.....	6
生涯学習海外研修に参加して.....	3	2001年はボランティア国際年	
市町村生涯学習アドバイザー等研究協議会開催.....	4	新会員紹介	
生涯学習実践記録と研究論文募集中		事務局からのお願い	
		編集後記	

謹賀

新年



年頭ご挨拶



(財)北海道生涯学習協会

会長 新谷 淳治

新年明けましておめでとございます。

御蔭様で昨年は関係各位のご指導とご協力により、所期の事業を恙なく実施させて頂き厚く御礼を申し上げます。

二十一世紀の年頭にあたり、我が国の二十世紀の足跡を回顧致しますと、第二次世界大戦での敗戦という事実が最大の事件でありましたが、民主国家への指標の下に時運も幸いして、目覚しい経済復興を果し、一言で豊かな時代と言われるようになりました。

然し、最近の世相は大変歪んだ危機的な様相を随所に示してあります。

本来、豊かさとは、物心両面が相整っている状態を評するものでありましようが、戦後の五十余年間は、自由を強調する程には、守らねばならぬ社会的、人間的秩序や規範等について発現を憚る風潮があります。

芭蕉は、「不易を知らざれば基立がたく、流行を弁えざれば風あらたならず」と述べ、その基は「一つなり」と表現しております。

生涯学習に於ては、知・情・意の均整のとれた学習が不可欠の要因と思いますが、当協会に於きましても、時代の変化と要請に呼応し得るよう、全道各地域との連繫を一層密にして、役割の一端を担いたいと存じます。

北海道教育委員会をはじめ、各諸団体皆様方のご鞭撻をお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

生涯学習振興策に新企画!

道教委の道民カレッジ構想に期待する

産学官連携ネットワークで多様な学習機会に

一、財団法人北海道生涯学習協会では、昭和五十二年官民からの出捐の基に設立されて以来、これまで道内多くの個人・団体賛助会員と共に、誰もがその努力と能力が正しく評価され、夢や志を実現することが可能であると信じられる開かれた社会

一遍の学歴やたった一度の選択で、その後のすべてが決まってしまうのではなく、回り道や道草などいつでもやり直しのきく柔軟で活力ある社会

そして学んで実践し、本当の豊かさを実感できる社会……

そういう生涯学習社会の実現を目指して、広く道民の方々が自ら自己を高め、或いは地域社会の発展に寄与しようとする願いを支援するため、北海道教育委員会の受託事業や独自事業など、道民活動センター(かでの二・七)を拠点に多岐に亘る事業を展開してきました。

二、一方、今日産業構造・就業構造の変化や、急速な高齢化の進行あるいは著しい情報通信の発達で、こうした社会の変化に一人ひとりが主体的に対応していくためには、常日頃自己啓発や自らのキャリアや職業能力の再開発のための「生涯学習」の必要性が一層高まり、そういったところからこれまでも増して、地域社会にある様々な人的、物的な教育的資源を体系的、効果的に整え、学習者の幅広いニーズに応え、多様な学習機会を提供していくことが求められてきています。

三、こうした折に、道教委では、明年度本道における生涯学習の振興策の一つとして、大学などの高等教育機関や、産業団体等との連携協力の下に、放送メディアを活用した遠隔教育を含めて、多面的な講座等を開設し、またそこの学習成果を積極的に評価、活用していく方策としての公的資格付与も視野に入れた道民カレッジ構想が検討されていると伺っており、私も関係団体としては、広域的な北海道の生涯学習を推進していく上で、誠に望ましい、かつ有効な施策と考えており、是非明年度にこれが実現されるよう願っています。

会員の声

専門性を高めるために

旭川市 阿部 豊

平成十年の生涯学習審議会答申「社会の変化に対応した今後の社会教育行政の在り方について」は、学社融合の推進のためには、教員と社会教育主事の双方向型の人事システムが必要であることなど、かつてない画期的な提言を行っている。



情報の広場

「ご存じですか？」

「著作権」

著作権保護の歴史は、十五世紀中頃の印刷術に始まると言われていますが、我が国においては明治三十二年に著作権法が制定されました。およそ一〇〇年の歴史がある法律です。

著作権がもつ権利には、大別して、著作人格権（内容の改変や著作者の改名など）と著作権（財産的利益の保護）の二つがあります。

また、著作権は特許権や商標権等と違い、手続きを必要としない無方式主義をとっていることから、

創作と同時に発生しています。特に、今日の「デジタル化」及び「ネットワーク化」は、画像や音楽など本物そっくりのコピーを大量に作ることや、誰もがインターネットなどを利用して著作物等を容易に送受信することを可能にしました。これらの機器を利用して、最新の音楽のコピーCD（いわゆる海賊版）の販売をしたり、インターネットで送信して利益を得るなどの犯罪が発生しています。

このように著作権等を侵害した者は、民事上の損害賠償を求められるとともに、重大な反社会行為として処罰の対象とされており、三年以下の懲役または三〇〇万円以下の罰金に処せられるなどの刑罰規定が設けられています。

教育主事が助言を行う対象もそのような領域が主なものであった。しかしながら、住民に対して幅広い学習機会を提供しなければならぬ今日にあつては、これまでの社会教育行政の範疇だけで助言に当たつても、総合的な学習支援にならないことは言うまでもない。

これからの社会教育主事は、住民の広範な学習活動を視野に入れて職務に従事する必要があり、そのためには学習活動全般の企画や調整の機能など、新たな役割をも担うことが期待されている。

さらに、強調したいことは、社会教育主事の組織機能を高めること、いわばシステム化によるグレードアップである。学校教育においてはチーム・ティーチングの導入によって、複数の教員の専門性の発揮、指導計画等の共同作成、多面的な評価活動などが可能になり、児童生徒一人一人の個に応じた教育活動を展開し、大きな効果をあげている。

社会教育行政においても、学社融合をはじめ、まちづくりや地域振興、環境問題への対応、男女共同参画社会の実現等、新たな分野で学校や他

の行政との連携が不可欠となり、社会教育主事一人一人の研鑽はもろろんのこと、社会教育主事のチームワークが必要になってきている。ますます複雑になる分掌を一人でこなすという姿勢から、複数による総合力で職務に当たるといふ姿勢への転換が求められる。

（上川教育局社会教育指導班主査）

北国の芸術文化サロン

北海道教職員厚生会

画廊 **Norte** (ノルテ)

[北(風)・北極星]

個展・グループ展の会場に。豊富な常設展示作品。

〒060-0001 札幌市中央区北1条西6丁目
安田火災北海ビル3F
☎(011) 241-0807

当社では時代に対応すべく努力し、皆様のニーズにお応えするよう体制を整えております。

株式会社 さんけい

代表取締役社長 高橋 光雄

本社
〒063-0850 札幌市西区八軒10条西12丁目2-48
TEL (011) 611-8868 FAX (011) 611-0422
http://www.sankei21.co.jp
E-mail: office@sankei21.co.jp

サービスセンター
〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目 通達ビル9F
TEL (011) 271-1911 FAX (011) 271-2551

文化交流室事業のご案内

十月から十二月までに実施しました文化交流室展の内容について御紹介致します。

「十月展示会」ペイントアルバム

『空間を採るハンドペイント』

十月三日(火)～三十日(月)

布や木材、陶器等身近な素材にペイントされた作品約一五〇点を展示し、素敵なツールペインティングの世界を御紹介致しました。



「十一月展示会」ドールハウス愛好会

『Miniature Factory』

十一月二日(木)～二十九日(水)

市販のミニチュアをはじめ、粘土紙、布などの日用雑貨品やカメラのフィルムケースなど、あらゆる素材を使い、夢の空間を作り出した作品の数々を御紹介致しました。

「十二月展示会」東川町教育委員会

『文化の香りただよ町・東川町』

十二月二日(土)～二十五日(月)

「写真の町」として毎年開催している、全国高等学校写真選手権大会写真甲子園から、今年度の大会で入選した作品や、町内在住の工芸家の作品を御紹介致しました。



二〇〇一年はボランテア国際年

一九九七年十一月二十日、第五十二回国連総会において二〇〇一年を「ボランテア国際年」とする決議案が採択され、一九九九年の国際高齢者年に続く国際年として、ボランテアのための国際年が制定された。

- 一 ボランテア活動への理解を深めること
- 二 ボランテア活動への参加を容易にすること
- 三 ボランテア活動の横のつながりを強化すること
- 四 ボランテア活動そのものを推進すること

日本においても一九九五年の阪神・淡路大震災直後の目覚ましいボランテア活動により、後にこの年がボランテア元年と言われるほどにボランテア活動に対する国民の理解と参加意識の高まりが見られ、今日、各地域における生涯学習の課題として、あるいは学校教育における、総合的な学習の時間などを活用した体験学習としての取組みが期待されているところである。

二〇〇〇年が、波乱に満ちた二十世紀を振り返り、過ぎし百年を総括する年であるとするれば、二〇〇一年は、来たるべき百年を見据え、希望を持って未来を語る年としなければならぬ。

新たな世紀のスタートである二〇〇一年が、ボランテア国際年に相応しい共に生きる社会の創造を目指して、世界的な取組みをすることの意義は、極めて大きいものがあると言える。

新会員紹介

次の方々が新たに賛助会員になりました。

- 個人会員
 - 野村 光彦 (札幌市)
 - 山崎 孝雄 (札幌市)
- 団体会員
 - 平取町教育委員会

(敬称は略させていただきます。)

事務局からのお願い

- ・会費納入について：諸事出費の多い時節から、誠に恐縮ですが賛助会費納入についてご協力願います。
- ・住所変更について：会員の皆様で住所変更、訂正のある方は事務局までお知らせ下さい。

編集後記

二〇〇〇年は、当協会も新谷新会長を迎え、新たな気持ちでスタートを切ったところですが、お陰様で予定していた事業等についても、皆様方のご協力を戴きながら、順調に終了することができました。

二〇〇一年は、生涯学習の充実発展に向け、新たな視点から各種事業への取組みを進めて参りますので、一層のご支援をお願い致します。

新しい年が皆様方にとりましてよいお年でありますようご祈念申し上げます。